

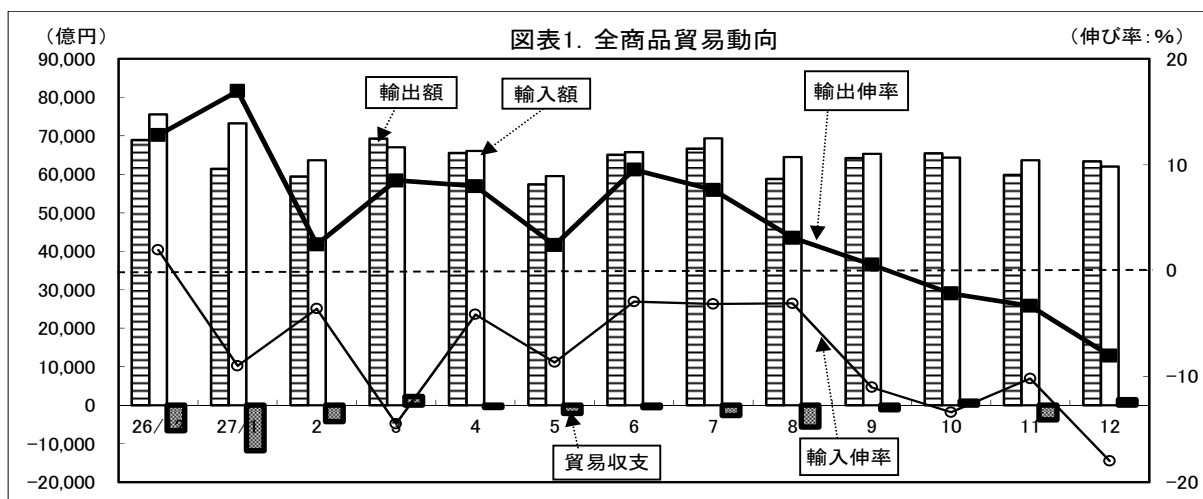
最近の機械貿易動向(12月)～機械輸出伸び率3ヶ月連続マイナス～

日本機械輸出組合 2016.2.15.

平成27年12月の機械輸出額は4兆1,544億円、対前年同月比5.6%減と、3ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①その他地域以外の5地域向けがすべてマイナスとなったこと、②産業機械、電子デバイス等が大きくマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が1.2%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は6.7%減と7ヶ月連続でマイナスとなった。平成28年1月の為替要因は0.4%の減少寄与要因となっているが、2月5日発表の貿易統計速報によれば1月上中旬の全商品輸出は9.6%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は3ヶ月連続、輸入は12ヶ月連続でマイナス～

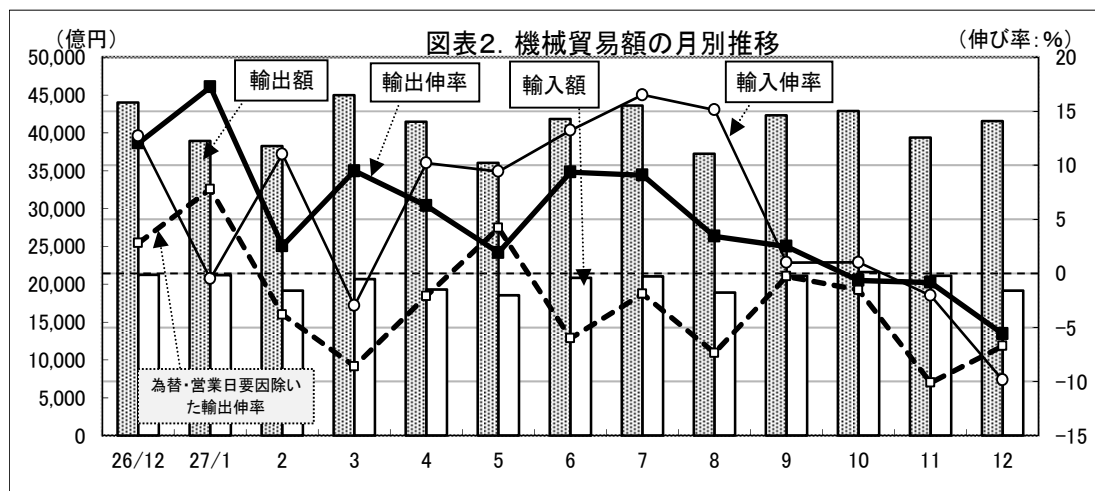
- 平成27年12月の全商品輸出額は**6兆3,382億円**、前年同月比(以下同じ)**8.0%減**と3ヶ月連続でマイナスとなった(11月3.3%減)。これは、全輸出額の約12%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(15.6%減)、19%の一般機械(11.6%減)、17%の電機機器(7.9%減)等がマイナスとなったためである。
- 輸入額は**6兆1,979億円**、**18.0%減**と12ヶ月連続でマイナスとなった(11月10.2%減)。これは、全輸入額の約22%を占める原油等鉱物性燃料(43.3%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、15%を占める電気機器(11.2%減)、9%の原料別製品(10.8%減)が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、1,403億円の黒字となった。(11月は3,813億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は3ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約66%を占める12月の機械輸出額は**4兆1,544億円**、**5.6%減**と3ヶ月連続でマイナスとなり(11月0.8%減)、その水準は、リーマンショック前(2007年11月)と比べると**81.3%**となって、前月に比べて3.0ポイント改善した(11月78.3%)。
- 一方、全商品輸入額の約31%を占める機械輸入額は、**1兆9,139億円**、**9.9%減**と2か月連続でマイナスとなった(11月2.1%減)。リーマンショック前(2007年12月)の水準と比較しても14.3%増となっている。

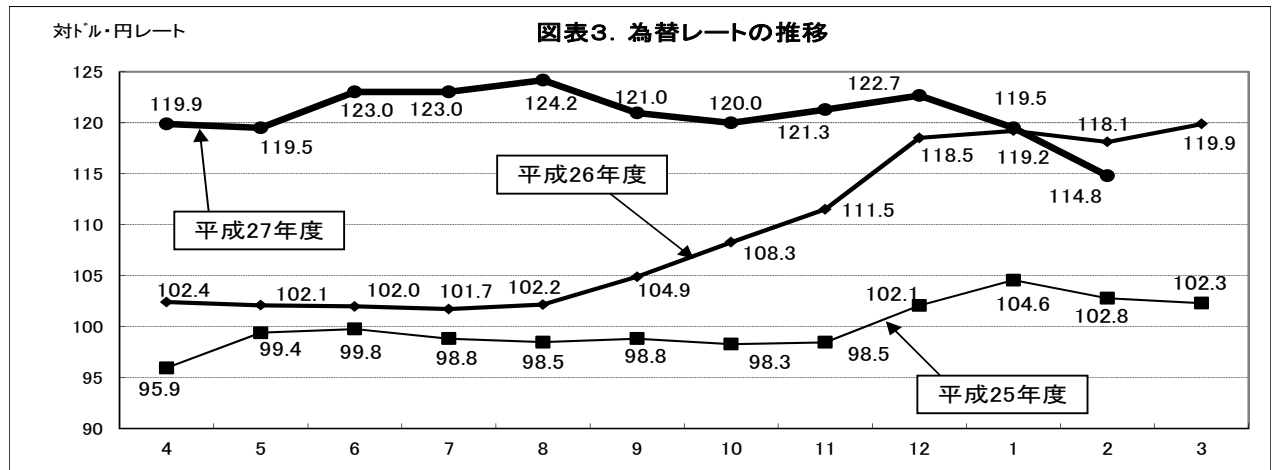


(2) 為替動向・営業日～1月は1.2%の増加要因、2月は約0.4%の減少要因～

1) 平成27年12月は1ドル=122.7円となり、前年に比べ3.5%の円安となった。また、対ユーロは132.0円と前年に対して10.4%の円高となり、合わせて約1.2%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で1.2%の増加要因となる。12月の輸出額は5.6%減であったことから、実質的伸び率は6.7%減と7ヶ月連続でマイナスとなった(11月10.1%減)。

2) 平成28年1月は1ドル=119.5円で前年比0.3%の円安、対ユーロでは130.2円で前年比9.1%の円高となり、合わせて約0.4%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で0.4%の減少となる。

3) 2月は、対ドルが2月10日17:00時点の114.8円とすれば、前年に比べて2.8%の円高、また、対ユーロは129.6円で3.7%の円高となり、合わせると約1.7%の為替減少要因となる。営業日は前年より1日多いため、5.8%の増加要因となり、合計で約4.0%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～EU以外のすべての地域向けが前年同月比マイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、プラスとなったのが、6.8%を占める EU 向けのみで、産業機械(20.7%減)や建設機械(15.7%減)がマイナスとなったものの、42%を占める自動車(36.5%増)が全体を引っ張って、6.8%増となった。

2) 他方、減少したのは、①15.6%のその他地域向けで、アフリカ(33.0%減)、中南米(22.9%減)をはじめ、殆どの地域で減少し、機種では産業機械(20.9%減)、船舶(42.6%減)等が大幅にマイナスとなって10.1%減となった。②14.6%の ASEAN・南アジア向けは、インドネシア(25.7%減)、ベトナム(11.4%減)、タイ(9.0%減)、マレーシア(8.8%減)等が大幅に減少し、業種では、全体の26%を占める自動車(5.5%減)、22%の産業機械(6.5%減)、建設機械(29.4%減)、工作機械(61.6%減)等がマイナスとなって9.4%減となり、③20.5%を占める中国向けは、全体の16%を占める自動車(11.0%増)が増加したものの、産業機械(9.5%減)、電子デバイス(17.4%減)、光学機械(16.4%減)等が大きく減少して8.6%減となった。④9.3%を占める韓国・台湾向けは産業機械(7.3%減)、光学機械(23.1%減)、重電気機械(22.1%減)等が減少して6.5%減となり、⑤27.0%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の52%を占める自動車(0.1%減)や13%の産業機械(0.2%減)は、ほぼ横這いだったものの、建設機械(36.5%減)等が大きく減少して3.2%減となった。

3) また、リーマンショック前の2007年12月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが90%台、北米向けが80%台、韓国・台湾向けが70%台、その他地域、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/10			2015/11			2015/12			対07年 12月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	42,905	▲ 0.6	100.0	39,387	▲ 0.8	100.0	41,544	▲ 5.6	100.0	0.81
北米	11,182	5.6	26.1	10,367	3.3	26.3	11,235	▲ 3.2	27.0	0.89
中国	9,132	▲ 2.7	21.3	7,955	▲ 9.2	20.2	8,527	▲ 8.6	20.5	0.94
ASEAN・南アジア	6,198	▲ 4.2	14.4	5,672	▲ 6.9	14.4	6,082	▲ 9.4	14.6	0.93
EU	5,166	7.1	12.0	4,690	10.1	11.9	5,351	6.8	12.9	0.63
韓国・台湾	4,023	8.1	9.4	3,549	▲ 4.9	9.0	3,859	▲ 6.5	9.3	0.78
その他	7,203	▲ 12.1	16.8	7,153	4.7	18.2	6,491	▲ 10.1	15.6	0.69

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2015/9		2015/10		2015/11		2015/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,908	14.2	1,908	14.2	1,668	▲ 18.3	1,902	▲ 10.8
台湾	2,000	20.7	2,000	20.7	1,881	11.4	1,956	▲ 1.8
ASEAN・南アジア								
タイ	1,703	7.4	1,703	7.4	1,586	▲ 8.3	1,638	▲ 9.0
シンガポール	1,085	16.8	1,085	16.8	818	▲ 14.0	887	▲ 4.7
インドネシア	662	▲ 10.1	662	▲ 10.1	580	▲ 16.3	633	▲ 25.7
マレーシア	665	4.1	665	4.1	592	▲ 12.3	684	▲ 8.8
フィリピン	650	29.0	650	29.0	635	9.5	596	▲ 6.3
ベトナム	652	20.6	652	20.6	631	▲ 7.3	704	▲ 11.4
インド	398	9.0	398	9.0	412	0.9	509	7.8
パキスタン	134	39.6	134	39.6	133	39.5	160	10.3
その他地域								
中南米	2,311	▲ 9.0	2,311	▲ 9.0	2,144	8.1	1,807	▲ 22.9
中近東	2,329	0.2	2,329	0.2	2,554	16.8	2,486	1.4
大洋州	1,261	▲ 9.9	1,261	▲ 9.9	1,232	8.8	961	▲ 5.8
ロシア東欧等	954	▲ 28.8	954	▲ 28.8	783	▲ 8.6	756	▲ 6.8
アフリカ	611	▲ 28.4	611	▲ 28.4	456	▲ 34.1	453	▲ 33.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中プラスは7業種。電子デバイス等10業種が二桁のマイナス～

- 1)業種別では、全21業種中プラスとなったのは7業種で、前月と同じであった。業種では、全体の約38%を占める自動車(4.0%増)が7ヶ月連続増加したものの、17%の産業機械(9.3%減)、7%の電子デバイス(13.8%減)が2ヶ月連続でマイナスとなり、重電気機械(12.9%減)、光学機械(21.2%減)、船舶(22.5%減)、通信機械(11.6%減)、建設機械(29.5%減)、工作機械(27.5%減)、電子計算機(11.3%減)、ベアリング(12.8%減)、陸用内燃機関(14.6%減)も二桁のマイナスとなって、機械全体で5.6%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車輛、軽機械、ベアリング、医療機械、光学機械の6業種で前月に比べて1業種増加し、他方、船舶、民生用電子機械、電子計算機が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2015/10			2015/11			2015/12			対07/12比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	15,769	5.2	36.8	自動車	15,391	11.9	39.1	自動車	15,805	4.0	38.0	0.86
産業機械	6,888	0.0	16.1	産業機械	6,323	▲ 7.0	16.1	産業機械	7,104	▲ 9.3	17.1	0.89
電子デバイス	3,403	0.7	7.9	電子デバイス	2,924	▲ 11.2	7.4	電子デバイス	3,010	▲ 13.8	7.2	0.70
軽電気機械	2,258	▲ 0.2	5.3	軽電気機械	1,926	▲ 3.6	4.9	軽電気機械	2,124	▲ 6.5	5.1	0.77
重電気機械	2,080	▲ 11.2	4.8	重電気機械	1,783	▲ 10.6	4.5	重電気機械	1,943	▲ 12.9	4.7	0.87
軽機械	1,745	1.1	4.1	軽機械	1,558	▲ 2.2	4.0	軽機械	1,809	2.5	4.4	1.25
民生用電子機械	1,734	0.2	4.0	民生用電子機械	1,429	▲ 9.7	3.6	民生用電子機械	1,463	▲ 6.9	3.5	0.44
光学機械	1,448	▲ 7.8	3.4	光学機械	1,342	▲ 16.2	3.4	光学機械	1,386	▲ 21.2	3.3	1.03
船舶	1,184	▲ 38.1	2.8	船舶	1,154	15.2	2.9	船舶	708	▲ 22.5	1.7	0.44
通信機械	906	26.4	2.1	通信機械	708	11.9	1.8	通信機械	612	▲ 11.6	1.5	0.59
建設機械	861	▲ 14.6	2.0	建設機械	782	▲ 24.1	2.0	建設機械	899	▲ 29.5	2.2	0.58
航空機部品	846	6.8	2.0	航空機部品	727	5.9	1.8	航空機部品	798	4.7	1.9	2.32
工作機械	777	▲ 14.1	1.8	工作機械	626	▲ 24.4	1.6	工作機械	713	▲ 27.5	1.7	0.83
電子計算機	511	3.0	1.2	電子計算機	452	▲ 16.0	1.1	電子計算機	515	▲ 11.3	1.2	0.47
医療機械	451	2.9	1.1	医療機械	461	▲ 2.0	1.2	医療機械	547	2.8	1.3	1.14
ベアリング	431	▲ 5.2	1.0	ベアリング	366	▲ 11.5	0.9	ベアリング	406	▲ 12.8	1.0	1.14
陸用内燃機関	348	▲ 15.2	0.8	陸用内燃機関	308	▲ 13.0	0.8	陸用内燃機関	362	▲ 14.6	0.9	0.83
農業機械	260	36.9	0.6	農業機械	192	1.0	0.5	農業機械	204	▲ 5.0	0.5	0.84
繊維機械	186	4.4	0.4	繊維機械	189	7.4	0.5	繊維機械	218	32.2	0.5	0.75
産業車両	143	5.4	0.3	産業車両	120	▲ 4.7	0.3	産業車両	130	1.2	0.3	0.56
鉄道車両	65	21.0	0.2	鉄道車両	68	29.1	0.2	鉄道車両	138	38.4	0.3	1.40
21業種合計	42,227		98.4	21業種合計	38,762		98.4	21業種合計	40,755		98.1	0.81

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～鉄道車輛、繊維機械、乗用車が大幅増、建設機械、発電機等が大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種は3機種(前月の6機種から3機種減)で、①ASEAN・南アジア、韓国・台湾向け**鉄道車輛**(38.4%増)、②中国、ASEAN・南アジア向け**繊維機械**(32.2%増)、③北米、その他地域向け**乗用車**(12.1%増)であった。

2)一方、建設機械(29.5%減)、発電機(28.4%減)、工作機械(27.5%減)等8機種が20%以上減少した。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2015/10			2015/11			2015/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
農業機械	260	36.9	鉄道車輛	68	29.1	鉄道車輛	138	38.4
産業用ロボット	180	35.4	受信変換その他送受信機器	166	28.7	繊維機械	218	32.2
通信機械部分品	508	34.0	乗用車	9,953	23.2	乗用車	9,785	12.1
磁気カード・ディスク等	212	27.1	船舶	1,154	15.2	機種合計	10,141	* 24.4%
受信変換その他送受信機器	186	26.3	発電機	88	13.8			
半導体製造装置	1,194	24.2	通信機械部分品	374	11.6			
鉄道車輛	65	21.0	機種合計	11,803	* 30.0%			
乗用車	9,802	12.9						
TV	124	12.5						
機種合計	12,531	* 29.2%						

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2015/10			2015/11			2015/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,184	▲ 38.1	金属加工機械	231	▲ 28.0	建設機械	899	▲ 29.5
発電機	107	▲ 28.3	デジカメ・ビデオ	328	▲ 27.1	発電機	72	▲ 28.4
デジカメ・ビデオ	404	▲ 17.2	工作機械	626	▲ 24.4	工作機械	713	▲ 27.5
電動機	146	▲ 16.7	建設機械	782	▲ 24.1	電池	205	▲ 24.1
陸用内燃機関	348	▲ 15.2	電動機	124	▲ 23.6	船舶	708	▲ 22.5
建設機械	861	▲ 14.6	その他の光学機器	1,128	▲ 17.8	その他の光学機器	1,188	▲ 22.0
電池	225	▲ 14.6	電気・電子計測器	337	▲ 16.5	デジカメ・ビデオ	303	▲ 21.9
工作機械	777	▲ 14.1	電子計算機	452	▲ 16.0	写真機の部分品・附属品	122	▲ 20.0
その他の重電機器・部分品	507	▲ 11.9	その他の配電制御装置	754	▲ 14.1	原動力機械	460	▲ 18.9
風水力機械	703	▲ 11.8	電池	194	▲ 14.1	その他の配電制御装置	800	▲ 16.5
機種合計	5,262	* 12.3%	機種合計	4,956	* 12.6%	機種合計	5,470	* 13.2%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～電子計算機、携帯電話、乗用車等が大幅減～

1)12月の機械輸入伸び率は9.9%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。電子デバイス(2.8%減)、電子計算機(8.4%減)、携帯電話(40.3%減)に加え、乗用車(14.3%減)、航空機・部品等(34.9%減)が大幅減となったことにより、マイナスとなった。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換・その他送受信、時計、TVとなっている。

3)地域別機械輸入額は、全体の41%を占める中国(10.6%減)、ASEAN・南アジア(6.7%減)、EU(9.5%減)、北米(18.1%減)、韓国・台湾(7.0%減)、その他地域(7.0%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2015/10				2015/11				2015/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,519	0.7	11.7	電子デバイス	2,455	1.8	11.6	電子デバイス	2,380	▲ 2.8	12.4
携帯電話	2,494	▲ 0.3	11.5	電子計算機	1,843	▲ 5.3	8.7	電子計算機	1,967	▲ 8.4	10.3
電子計算機	1,762	▲ 17.7	8.2	携帯電話	1,648	▲ 42.0	7.8	自動車部品	1,118	4.6	5.8
航空機・部品等	1,284	14.4	5.9	自動車部品	1,249	13.3	5.9	携帯電話	1,013	▲ 40.3	5.3
自動車部品	1,187	6.2	5.5	航空機・部品等	1,082	▲ 14.7	5.1	乗用車	949	▲ 14.3	5.0
乗用車	917	▲ 11.8	4.2	乗用車	1,018	▲ 0.6	4.8	航空機・部品等	810	▲ 34.9	4.2
白物家電	695	1.0	3.2	白物家電	790	12.6	3.7	白物家電	723	4.1	3.8
医療機械	644	▲ 0.6	3.0	医療機械	691	11.1	3.3	医療機械	719	9.2	3.8
受信変換その他送受信	544	▲ 0.9	2.5	配電機器	601	13.2	2.8	配電機器	550	▲ 5.3	2.9
配電機器	541	4.6	2.5	受信変換その他送受信	559	2.1	2.7	受信変換その他送受信	540	▲ 7.0	2.8
試験・検査機	534	112.1	2.5	その他の配電制御装置	432	6.2	2.0	その他の配電制御装置	379	▲ 7.2	2.0
その他の配電制御装置	409	2.1	1.9	時計	387	26.8	1.8	コンデンサー等部分品	364	▲ 10.7	1.9
12機種合計	13,530	62.6		12機種合計	12,755		60.5	12機種合計	11,512		60.1

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等